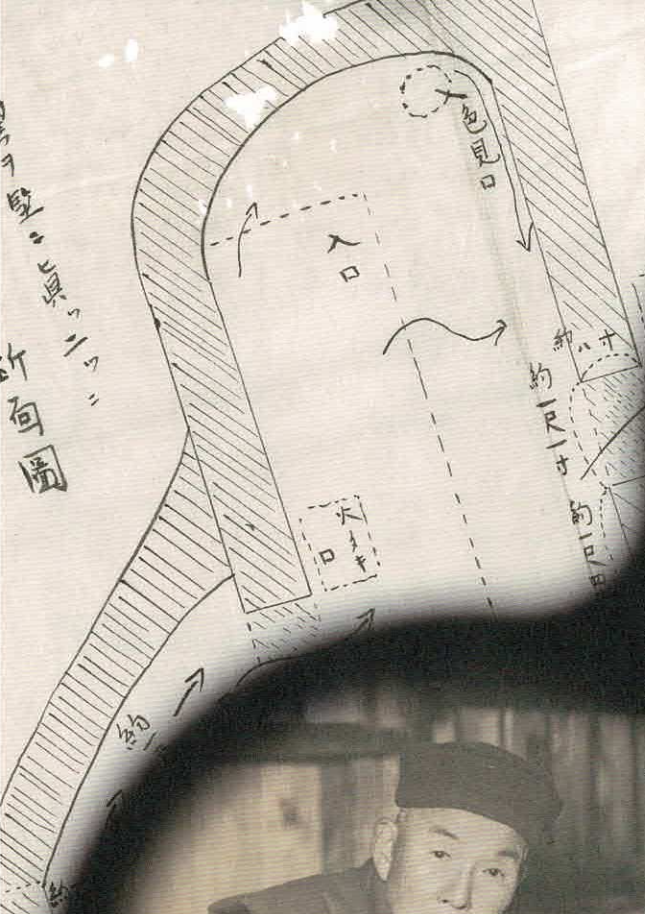


初代今村静斎
(一八九〇〜一九二二)



子と父の絆、
駆け抜けた
二十年の光芒



丹波篠山市立歴史美術館特別展

初代今村静斎没後百年

篠山焼 二代の物語

初代作 象嵌雲鶴文壺



二代今村静斎
(一八五六〜一九三五)

*背景写真は、今村家に伝わる家の設計図

令和四年

十月十二日(水)〜十二月四日(日)

丹波篠山市立
歴史美術館

〒669-2322 兵庫県丹波篠山市呉服町 53 番地
TEL 079-552-0601 FAX 079-552-6618
HP <https://withsasayama.jp/history-museum/>
展覧会情報は、丹波篠山市立歴史美術館 検索



篠山焼 二代の物語

初代今村静斎没後百年

今村静斎(本名 静治)は、明治23(1890)年、篠山町(現、丹波篠山市)西町に生まれました。

若き静斎は、平安鎌倉の昔から今に続く「丹波焼」のすばらしさに感動し、江戸時代の篠山藩主のお庭焼「王地山焼」が廃窯になったことを残念に思い、王地山焼の復興をめざして陶芸の道を志します。京都での修行の後、自宅の庭に窯を築き、「篠山焼」と名付けました。青磁や染付、三島手などの茶陶を多く制作し、中でも、象嵌の技法を取り入れた壺や鉢には優れたものがあります。

しかし、大正11(1922)年、32歳で病没。その後、篠山焼が途絶えることを憂いた父源太郎は、66歳ながら瀬戸で修行を重ねた後、自ら二代目静斎を名乗り、篠山焼を継承しましたが昭和10(1935)年に病没。篠山焼は、わずか20余年で途絶えてしまいました。

本年は、初代今村静斎没後百年にあたります。篠山焼の優品の数々と自筆資料を通して、作品作りに心血を注いだ、子と父、二代の静斎の生涯を知っていただく機会といたします。

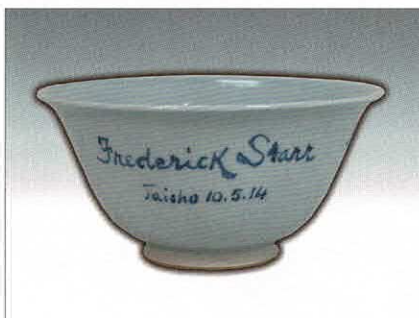
二代静斎
源太郎

妻 静治
初代静斎

すえ

光子
俊明
現当主

◆今村静斎略系図



スタール博士署名入り菓子鉢



青磁鹿文四方皿

主な出展品

- 初代今村静斎より父への手紙(窯設計図)
- 象嵌青海波鶴文瓶掛
- 青海波文角瓶
- 菊蟹絵茶碗 竹霞画伯絵
- 山水船遊図
- 染付山水文煎茶碗(高橋道八作)

篠山焼創始者・今村静斎の生家—陶々菴(土日祝のみ見学可能です)

開館時間：10：00～16：00
 ＊開館日は、都合により変更する場合があります。事前にご確認ください。10/15(土)・16(日)は都合により休館。
 個人ギャラリーですので、訪問される際には十分なご配慮をお願いいたします。
 住所：兵庫県丹波篠山市西町64
 お問い合わせ：090-7884-6651(今村 俊明氏)
<https://to-to-an.com/>
tamba@green.ocn.ne.jp



今村静斎の生家



篠山焼の登り窯

ウォーキングツアー

篠山焼に触れる—歴史美術館から陶々菴へ—

- ①歴史美術館
 - 定員：1回先着10名まで
 - 集合場所：歴史美術館
 - 参加費：1人1500円
 - 参加方法：事前申込制
 - 申込締切：定員になり次第、もしくは開催日の2日前
- ↓ トークギャラリー
- ②青山歴史村
 - 集合場所：歴史美術館
 - 参加費：1人1500円
 - 参加方法：事前申込制
 - 申込締切：定員になり次第、もしくは開催日の2日前
- ↓ 篠山焼を使っつのお茶席
- ③陶々菴見学
 - 日時
 - 1回目：10月22日(土)
 - 2回目：10月29日(土)
 - 3回目：11月26日(土)
 - いずれも13：00～15：30 ＊終了時間は予定です。

- ◇入館時間9時～16時30分(最終日は16時)
- ◇休館日 月曜日(祝祭日はその翌日)
- ◇入館料 大人500円 大学・高校生400円 中学・小学生300円(30名様以上で団体割引あり)
- ◇4館共通入館券(歴史美術館・篠山城大書院・武家屋敷安間家史料館 青山歴史村) 大人800円 大学・高校生500円 中学・小学生350円
- ◇[歴史美術館へのアクセス]・JR篠山駅から神姫グリーンバスで春日神社前下車東へ徒歩1分・お車でお越しの方は舞鶴若狭自動車道丹南篠山ICから東へ約10分(歴史美術館南側専用無料駐車場5台)

新型コロナウイルス感染症拡大により、予告なく期間の変更、臨時休館となる場合がございます。あらかじめご了承ください。歴史美術館では新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しております。詳細はホームページ等でご確認ください。



陶々菴 歴史美術館

Facebookもチェック



◆主催：一般社団法人ウイズささやま ◆共催：丹波篠山市教育委員会